

主要産地における令和6年産水稲の生育状況等について 第8報 (令和6年7月3日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和6年7月3日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	令和6年産の品種構成の概況
北海道	(6月15日現在)	(全道) 草丈はやや短く、葉数は昨年並、茎数は少ない。生育は昨年並に進んでいる。(北海道農政部 6月17日付)			
	(生育)	(空知) 生育は昨年並みである。(北海道空知総合振興局 6月17日付) (石狩) 葉枯れの影響で分けつが発生が確認となっている。(北海道石狩振興局 6月17日付) (根室) 遅速日数：遅2日。(北海道根室振興局 6月17日付) (日高) 生育は昨年並に推移している。(北海道日高振興局 6月17日付) (釧路) 生育は昨年並に推移している。6月17日現在の低温期間により、茎数が少ない。(北海道釧路総合振興局 6月17日付) (上川) 生育は昨年並である。(北海道上川総合振興局 6月17日付) (留萌) 生育は昨年並に進んでいる。(北海道留萌振興局 6月17日付) (オホーツク) 生育はやや遅れている。(北海道オホーツク総合振興局 6月17日付)		【全国】 昨年の春から続いていたエルニーニョ現象は終息したとみられる。今後、秋にかけて平常の状態が続く可能性もあるが(40%)、ラニーニャ現象が発生する可能性の方がより高い(60%)。(気象庁 6月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、オホーツク海側と太平洋側でほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)
青森	(6月30日現在)	・「はれわたり」は草丈が55.5cmで昨年より1.9cm長く、株当たりの茎数は30.2本で1.2本多く、葉数は9.2葉で0.2葉多かった。 ・「まっしぐら」は草丈が58.6cmで5.7cm長く、株当たりの茎数は27.2本で3.2本少なく、葉数は9.4葉で0.5葉多かった。 (生育) ・「青天の霹靂」は草丈が55.0cmで4.0cm長く、株当たりの茎数は22.3本で2.9本少なく、葉数は8.9葉で0.4葉多かった。 (地検) 青森県産産技術センター農林総合研究所 7月1日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」を中心とする品種構成となっている。 「青天の霹靂」「はれわたり」が増加傾向となっている。
岩手	(6月25日現在)	・生育診断予察における生育(県平均)は、草丈が43.6cm(昨年並+4.0cm)、茎数は508本/m ² (昨年比120%)、葉数は9.1葉(昨年並+0.8葉)、葉色値は42.4(昨年並+1.5)と、いずれも昨年を上回っている。 (岩手県農林水産部農業普及技術課 6月26日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 県のオリジナル品種である「銀河のしずく」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(7月1日現在)	・古川農試試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は55.3cm(昨年比112%)、1㎡当たりの茎数は686本(昨年比108%)、葉色はGM値が40.8(昨年並-0.9)、葉数は9.8枚(昨年並+0.8枚)となっており、昨年と比較して茎数は多く、葉数はやや多くなっている。宮城県農政部みどり推進課 7月2日付) (大河原) 令和6年産に出穂時期が早まることが予測される。(宮城県大河原農業改良普及センター 7月3日付) (仙台) (移植栽培「ひとめぼれ」) 草丈は56.3cm 概ね昨年並、葉色は39.3でこの時期の目安(40前後)の範囲内となっている。茎数は55本/m ² で昨年(47本/m ²)よりやや多い状況。(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日付) (大崎) 6月第2半旬以降は概ね高温多湿で経過したことから、生育は昨年より進んでいる。播種平均値は、草丈、葉数及び葉色は昨年を上回り、茎数は96%でほぼ昨年並。6月第2半旬以降は概ね高温多湿で経過したため、まもなく幼穂形成始期に達する見込み。晩期移植は播種より早く、茎数が目標数に達した。(宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日付) (鹿角) 管内の生育調査の「ひとめぼれ」については、草丈、茎数ともに昨年を上回って推移しているが、葉色は昨年を下回っている。晩期栽培の「ひとめぼれ」は、草丈が増え、茎数も増加している。「たて正夢」は、草丈が昨年より上回っているが、葉色は昨年を下回っている。「金のいなか」は、草丈が概ね昨年並、茎数は昨年を上回っている。田植えの早かった「つや姫」、「つきあかり」調査ほや「ひとめぼれ」(鹿角県)も有効茎数を確保しており、平干しの時期に入っている。(宮城県鹿角農業改良普及センター 7月2日付) (気仙沼) 6月は高温で推移したため、概ね順調な生育となっている。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月2日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田	(6月10日現在)	【移植栽培】 ・各地域別圃場による定点調査(6月10日)では、「あきたこまち」(84地点)は、草丈25.3cm(昨年比100%)、㎡当たり茎数124本(同94%)、葉数6.3葉(昨年並+0.2葉)であった。「ひとめぼれ」(8地点)は、草丈27.4cm(昨年比98%)、㎡当たり茎数207本(同97%)、葉数6.5葉(昨年並-0.1葉)であった。 ・茎数は全体的に昨年より少なく、「あきたこまち」は東北で昨年比94%、中央で同89%、南で同82%、「ひとめぼれ」は同87%だった。 ・茎数が少ない要因としては、栽培密度が低く傾向であることに加え、移植後の強風による葉の黄化や枯れ枯れ、6月5日頃から6月17日頃に最高気温の低い期間があり水温や地温の上昇が緩慢であったと推定され、茎数の増加が遅れている場所が多かったと見られる。 【直接栽培】 ・6月10日現在の農試及び定点の生育調査は、湛水圃場の「あきたこまち」では、全圃場平均で圃立率は62.9%、㎡当たり圃立数は97本、草丈16.3cm、㎡当たり茎数は111本、葉数は4.3葉であった。平年と比べて、圃立率は茎、㎡当たり茎数は少なく、草丈は茎、葉数も並であった。 (秋田県 6月14日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形	(6月28日現在)	・「雪若丸」の県全体の生育は、平年と比べて草丈は昨年並、茎数は多く、葉数はやや多い、葉色はやや淡い状況。(山形県農林水産部農業技術環境課 6月28日付) ・平田郡「はえぬき」の生育は、草丈、葉数、葉色がいずれも昨年並みとなっているが、すでに10枚目の葉が抽出しており、生育が早まっている。農業総合研究センター本所及び水田農業研究所における幼穂の検閲調査では、「はえぬき」「雪若丸」の出穂予想はいずれも7月29日～30日、昨年より2～4日早まる予想。(山形県農林水産部農業技術環境課 6月28日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が定着している。
福島	(6月4日調査)	【農業総合センターにおける水稲の生育状況】 ・「コシヒカリ」の生育調査では、平年と比べて、本部(郡山市)は草丈が長く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 ・会津地域研究所(会津坂下町)は、草丈が短く、茎数が少なく、主稈葉数が0.1葉少なくなっている。 (生育) ・浜地域研究所(相馬市)は、草丈が昨年並、茎数が多く、主稈葉数が0.3葉多くなっている。 (福島県農林水産部農業振興課 6月10日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は日本海側で昨年並が多く、太平洋側で、ほぼ昨年並の見込み。日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が定着している。
茨城	(水戸市)(6月19日現在)	・(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日付) ・幼穂検閲から予測される出穂期は、「あきたこまち」、「ふくまるS」とも7月18日である。 (龍ヶ崎市)(6月27日現在)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準への付加移行が進んでいる。 (気象庁)
栃木	(生育概況)(6月21日調査)	<普通コシヒカリ> ・草丈：那須町では長いのが全体的には昨年よりやや短い(95%) ・茎数：塩谷南郡、上野管内でやや少ないが、全圃場平均では昨年よりやや多い(104%) ・葉数：全体的に昨年並み。 ・葉色：全体的に上回っているが、昨年並みからやや濃い(+0.2)。 (生育) <普通とちぎの星> ・草丈：宇都宮市、農研センターで昨年並み、さくら市、真岡市は昨年より短い。 ・茎数：真岡市で少ないが、他の地域では昨年をかなり上回っている。全体的には昨年より多い(前年比114%) ・葉数：葉色版での葉色は農研センターでは淡いが、全体的には昨年より多い(+0.4) (栃木県農政部長官技術課 6月27日付)			
	(生育)			【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ昨年並の見込み。 (気象庁)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、オリオナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。 (気象庁)

<p>干葉</p> <p>(生育状況等)</p> <p>【生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月20日に移植した「コシヒカリ」「新すけ」は6月20日頃、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月25日頃に幼穂形成期を迎えている。いづれも穂も幼穂形成期が平均より3日遅延している。 現在の「コシヒカリ」の生育は、草丈が平均並みで、茎数がやや多く、5月1日播入は葉色がやや濃く推移している。 <p>(生育)</p> <p>(千葉県農林水産部 6月27日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁)</p> <p>向こう1か月結実病害発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ふさごがけ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「新すけ」の本格栽培が開始
<p>新潟</p> <p>(7月1日現在の県内全域の生育概況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」では指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」の状況。 「新之助」では指標値に比べ、草丈は「長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「並」、葉色は「濃い」状況。(新潟県農林水産部 7月2日付) <p>(生育)</p> <p>(7月1日現在)</p> <p>(村上市)「コシヒカリ」現在の生育状況は、最高分け期を迎え、生育量が大きくなっている。(村上農業者指導センター 7月2日付)</p> <p>(新潟市)「コシヒカリ」草丈は長く、葉色は濃い傾向。(新潟県農業者指導センター 7月2日付)</p> <p>(三条市)「コシヒカリ」指標値比:草丈「長」、葉数「やや早」、葉色「並」、(三条農業者指導センター 7月1日付)</p> <p>(佐和田市)「コシヒカリ」生育感傾向:指標値比:草丈「長」、茎数「多」、葉色「濃い」、葉色「並」(佐和田農業者指導センター 7月1日付)</p> <p>(南魚沼市)「コシヒカリ」県内全体:草丈、やや長、茎数、並、葉数、並、葉色、やや濃。早生品種等の出穂期は平均並の見込み。(南魚沼農業者指導センター 7月1日付)</p> <p>(十日町市)「コシヒカリ」草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉色は「濃い」、葉数の進みは「やや早い」、田植えの早い早生品種では、幼穂形成期を迎えている傾向がある。</p> <p>(十日町市)「コシヒカリ」でも、生育が早まっている。(十日町農業者指導センターほか 7月1日付)</p> <p>(糸魚川市)「コシヒカリ」全体的に生育は順調に推移している。現時点での予想では、出穂期は平均に比べ2日程度早まる見込み。(糸魚川農業者指導センター 7月1日付)</p> <p>(佐渡市)「コシヒカリ」高温多湿期間などにより、草丈が伸び葉色が濃化した品種は、倒伏や穂数変動が懸念される。今後高温が予想されている。そのため出穂期は平均より9日程度早くと考えられる。(佐渡農業者指導センター 7月1日付)</p> <p>(6月29日現在)</p> <p>(上越)「コシヒカリ」の葉数の進みや遅いが、草丈が長くなっている。「こしいぶき」の葉数の進みは指標値よりやや早く、葉色が濃くなっている。管内の「こしいぶき」の平均的な出穂期は、7月26日頃と平均並と見込み。(上越農業者指導センター 7月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成である。近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずき」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、「新之助」「新之助」(晩生)の作付拡大を推奨している。 	
<p>富山</p> <p>(7月2日 生育観測は)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「てんたかく」早生に比べ、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は濃く、葉数は0.4差違っている。葉数を揃えて比較すると、平均に比べ、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は濃く、葉数は多い。今後、平均並の気温で推移した場合、出穂期は平均に比べ1日遅い7月16日頃と見込まれる。 「コシヒカリ」平均に比べ、草丈、葉数は並、葉色はやや濃く、葉数は多い。幼穂形成期は、平均に比べ1日早い7月10日頃と見込まれる。 「てんこもり」平均に比べ、草丈は長く、茎数、葉数は並、葉数は0.5差違っている。葉数を揃えて比較すると、平均に比べ、草丈、葉色は並、葉数はやや多くなっている。幼穂形成期は、平均に比べ2日早い7月10日頃と見込まれる。 「富富富」近年に比べ、草丈は長く、茎数はやや多く、葉色は並、葉数は0.2差違っている。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや多く、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ1日早い7月12日頃と見込まれる。 <p>(富山県農業技術課 7月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年高温多湿でも品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」のトップブランドに近づいている。「富富富」が増加傾向にある。 	
<p>石川</p> <p>(6月20日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの品種、園場で中干し時期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ゆめまろ」の作付が増加傾向にある。 	
<p>福井</p> <p>(6月20日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの品種、園場で中干し時期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、ニカメイガ、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエササキ」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。 	
<p>長野</p> <p>(移植後30日の生育)</p> <p>【標高348m坂市八重森の農業試験場における水稲生育状況 「あきたこまち、コシヒカリ、黒さやか」】</p> <p>・主幹葉数は3品種ともに平均並。草丈は3品種とも平均より長い。茎数は「あきたこまち」「コシヒカリ」で平均並に回復し、「黒さやか」では平均より3割程度多い。これは、移植後21～20日の高温により分けつ発生が促されたことと考えられる。</p> <p>【標高1017m坂村の農村試験場における水稲生育状況 「きらりん、ゆめしなの、あきたこまち」】</p> <p>・平均に比べ主幹葉数は「きらりん」、「ゆめしなの」で平均並となり、「あきたこまち」ではやや多い。「きらりん」では草丈、葉数とも平均並。「ゆめしなの」、「あきたこまち」では草丈は平均より長く、茎数は多い。これは、移植11～20日の高温による分けつ促進したためと考えられる。</p> <p>(長野県農業試験場 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「黒さやか」の導入が進んでいる。 	
<p>滋賀</p> <p>(農業技術振興センター 水稲作況調査 6月20日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈は、「みずかがみ」は平均よりやや短く、「コシヒカリ」は平均並であった。 茎数は、「みずかがみ」は平均並、「コシヒカリ」はやや少なかった。 葉色は、「みずかがみ」は平均よりやや濃く、「コシヒカリ」は平均並であった。 主幹葉数は「みずかがみ」は平均より多く、「コシヒカリ」はやや少なかった。 6月25日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期(幼穂1.0mm)に達していないが平均並やや早い時期となる見込み。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で平均並か多く、太平洋側で、ほぼ平均並の見込み。日照時間は、日本海側で、ほぼ平均並、太平洋側で平均並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、細菌性病害の発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「ゆめみづ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿に促された「みずかがみ」の作付けが進んでいる。 	
<p>兵庫</p> <p>(5月29日現在)</p> <p>【熊本】移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>【熊野】現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(兵庫農林水産部 6月3日付)</p> <p>(育苗/生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で平均並か多く、太平洋側で、ほぼ平均並の見込み。日照時間は、日本海側で、ほぼ平均並、太平洋側で平均並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並が多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>向こう1か月いもち病、細菌性病害の発生が多いと予想される。(農林水産部 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山崎」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推奨している。 	
<p>岡山</p> <ul style="list-style-type: none"> 播種早生の生育は概ね平均並である。 <p>(岡山県 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並が多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。 	
<p>広島</p> <p>(6月20日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの品種、園場で中干し時期となっている。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及推進部会 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並か多く、日照時間は、ほぼ平均並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平均並が多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。 	

愛 媛	<p>(生育状況等)</p> <p>(6月27日現在) 「ひめの高」</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月3日移植、田植え後 2.5日時点での茎数は13.4本/株で、昨年度と同程度。 <p>(愛媛県農林水産研究所 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」「ひめの高」への品種変更が定着してきている。
高 知	<ul style="list-style-type: none"> 「よさこい美人」等専登生品種の出穂期は6月20日頃、「コシヒカリ」の出穂期は6月末～7月初旬頃と見込まれていることから、今後、斑点米カメムシ類による被害が予想される。 <p>(高知県病害虫防除所 6月28日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシ、いもち病、斑点米カメムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。
福 岡	<p>【早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植え後、気温がやや高く経過したため、活着は順調で草丈・茎数は平年並。ウンカ類の発生は確認されていない。 4月下旬頃の出穂期は7月中旬頃で、平年並の見込み。 <p>【普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗期の天候は良好に経過しており、苗の生育は概ね順調。 現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平地地の「夢つくし」は6月上旬中、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。 <p>(福岡県農林業総合試験場 6月23日付)</p> <p>(移植)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月イネミズゾウムシの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリサーチング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>(6月中旬)</p> <p>【作物の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。 <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みらい38」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 早期栽培は「コシヒカリ」普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：県及び地方自治体、出資機関等がホームページで公表している資料を基に集約・整理し、取りまとめ。
注2：生育状況等(農林水産省公表資料の抜粋)については令和6年7月3日 14時時点での取りまとめ。
注3：更新情報は最新で表した。

引用資料:

農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道農政部 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道空知総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道石狩総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況(6月15日現在)(北海道後志総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道胆振総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道渡島総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道日高総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道檜山総合振興局 6月17日)、
農作物の生育状況(6月15日現在)(北海道上川総合振興局 6月17日)、
農作物生育状況調査の概要(6月15日現在)(北海道留萌総合振興局 6月17日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況(6月15日現在)(北海道オホーツク総合振興局 6月17日)、
水稲作況調査(6月30日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月3日)、
令和6年度岩手県内の水稲の生育概況(6月25日現在 速報)(岩手県農林水産部農業技術普及課 6月26日)、
令和6年度水稲の生育状況について(7月1日現在)(宮城県 7月2日)、
令和6年度仙南稲作情報(第3号)(宮城県大河原農業改良普及センター 7月3日)、
仙台稲作情報2024(第3号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日)、
登米地域の稲作通信第5号(宮城県登米農業改良普及センター 7月2日)、
大崎稲作情報第5号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日)、
令和6年度気仙沼・南三陸稲作情報第5号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 7月2日)、
作況ニュース(第3号)(秋田県農林水産部 6月14日)、
雪若丸 技術情報 No.5(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 6月28日)、
米づくり技術情報 No.11(やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部 山形県農林水産部農業技術環境課 6月28日)、
主要な農作物の生育情報令和6年度第3号(令和6年6月10日現在)(福島県 6月10日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日)、
水稲生育診断速報2024No.3(栃木県農政部経営技術課 6月27日)、
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第4号)(新潟県農林水産部 7月2日)、
R6岩船米生育速報(7月1日現在)(新潟県村上農業普及指導センター 7月2日)、
令和6年度新発田地域水稲生育速報No.4(新潟県新発田農業普及指導センター 7月2日)、
稲作速報No.4(新潟県新潟農業普及指導センター 7月2日)、
FAX稲作情報No.6(新潟県三条農業普及指導センター 7月1日)、
水稲生育速報(新潟県長岡農業普及指導センター 7月1日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.4(7月1日調査)(新潟県南魚沼農業普及指導センター 7月1日)、
十日町地域稲作生育速報(新潟県十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 7月1日)、
令和6年度上越地域米コシヒカリ・こしひき生育速報No.4(新潟県上越農業普及指導センター 7月1日)、
令和6年度糸川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.4(新潟県糸川農業普及指導センター 7月1日)、
令和6年度稲作生育速報No.4(新潟県佐渡農業普及指導センター 7月1日)、
TACS情報第6号(富山県 7月2日)、
稲作情報No.9(水稲レベラップ委員会技術普及推進部会 作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会 6月21日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(長野県農業試験場 6月26日)、
水稲高標高試験圃の生育状況(長野県農業試験場 6月26日)、
令和6年度稲作生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、
令和6年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月27日)、
2024年度産「ひめの凛」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 6月27日)、
令和6年度病害虫発生予察技術情報第5号(高知県病害虫防除所 6月28日)、
主な農産物の生産状況(令和6年6月14日 専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 6月23日)、
令和6年度病害虫発生予報第3号(富山県病害虫防除所・肥料検査センター 6月27日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月27日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月27日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月27日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月27日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月27日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月27日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月27日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月27日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月27日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月27日14時30分)(気象庁)、

エルニーニョ監視速報(No.381)(気象庁 6月10日)、

令和6年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月12日)、
令和6年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月12日)